

## 法務省政策評価懇談会（第59回）議事要旨

### 1. 日 時

令和2年2月25日（火）13:30～15:24

### 2. 場 所

法務省大会議室（地下1階）

### 3. 出席者

<政策評価懇談会構成員>

井 上 東	公認会計士
大 沼 洋 一	弁護士
(座長) 田 中 等	弁護士
野 澤 和 弘	一般社団法人スローコミュニケーション理事長・ 植草学園大学客員教授（元毎日新聞社論説委員）
宮 園 久 栄	東洋学園大学人間科学部教授

<省内出席者>

法務事務次官	辻 裕 教
政策立案総括審議官	西 山 卓 爾
官房参事官兼企画再犯防止推進室長	早 渕 宏 毅
官房付兼秘書課付	野 田 洋 平
官房付	谷 澤 衣里子
秘書課企画調査官	池 田 仁
秘書課企画調整官	田 島 昭 仁
人事課補佐官	佐 藤 太
官房参事官（予算担当）	深 野 友 裕
官房付兼国際課付	杉 原 隆 之
施設課技術企画室長	山 北 孝 治
厚生管理官総括補佐官	吉 原 仁
司法法制部参事官	渡 邊 英 夫
官房付兼司法法制部付	川 副 万 代
民事局付兼登記所適正配置対策室長	竹 下 慶
刑事局付	中 村 明日香
刑事局刑事法制企画官	鷗 鷗 昌 二
矯正局成人矯正課警備対策室長	白 川 秀 史
矯正局成人矯正課企画官	山 本 英 博
矯正局成人矯正課企画官	吉 野 智
保護局観察課処遇企画官	勝 田 聡

保護局更生保護振興課保護調査官	南 元 英 夫
人権擁護局参事官	中 島 行 雄
訟務局訟務企画課訟務広報官	江 原 幸 紀
法務総合研究所総務企画部副部長	野 原 一 郎
法務総合研究所研究部総括研究官	栗 田 知 穂
法務総合研究所国際協力部副部長	伊 藤 浩 之
出入国在留管理庁政策課長	福 原 申 子
公安調査庁総務部総務課企画調整室長	小 林 賢 一 郎

<事務局>

秘書課政策立案・情報管理室長	渡 辺 英 樹
秘書課補佐官	手 塚 貴 与

#### 4. 概要

「令和2年度法務省事後評価の実施に関する計画（案）」について事務局から説明した後、委員に意見を求めた。

#### 5. 主な意見・指摘等

○令和2年度法務省事後評価の実施に関する計画（案）について

<法曹養成制度の充実>

- ・法科大学院の魅力を高めて質の高い学生を集めるとともに、法科大学院の学生にしっかりと実務科目を学ばせるため、司法試験科目の見直しを含め、実務科目の重要性を高めていく方策について検討されたい。

<矯正施設における収容環境の維持及び適正な処遇の実施>

- ・薬物依存離脱指導について、女性の脆弱性など、女性の薬物事犯者に特有な点も配慮したプログラムの作成及び実施について検討されたい。
- ・刑務所の少年について、知能検査結果を教育プログラムへの編入の振り分けに用いることについて、EBPMの観点からデータを利用して、見直す必要があるのかどうかを検討されたい。
- ・「刑事施設における職業訓練の受講率」を測定指標に掲げているが、資格や免許を取得することが、その受刑者の出所後の就労を容易にする、再犯の防止に資すると考えてこれらの資格や免許取得を行っているのであれば、就労にその資格や免許が生かされているかが分かる指標を掲げるべきではないか。

<保護観察対象者等の改善更生等>

- ・「協力雇用主のもとでの新規就労者数」、例えば、5年後にも就労が継続しているかどうかや、辞めた者の割合はどうかといったような数字も分かると、今後の再犯防止推進計画を進めていく上でも参考になるのではないか。